

関市立関商工高等学校

校長 中原 泰男

学校住所 岐阜県関市桐ヶ丘一丁目1番地 電話 0575-22-4221

1 会議の名称 第2回関商工高等学校運営協議会

- 2 会議の構成 委員 北瀬 美幸 関美濃保護区保護司会 保護司
杉原 茂男 中部学院大学 特命学長補佐 入試広報部長
田中 裕美 国際ソロプチミスト関 前会長
波多野篤志 青協建設株式会社 取締役副社長
森 有生 関青年会議所 理事長
山田美穂子 関印刷有限公司 取締役社長
後藤 正興 関市立関商工高等学校 P T A 会長
アドバイザー 長屋 千秋 各務原市産業活力部商工振興課人材確保相談員(元本校副校長)
山田 雄治 朝日大学経営学部経営学科教授(元本校校長)

(敬称略 50 音順)

学校側	中原 泰男	校長
	蒲 尚胤	副校長
	長尾 成広	事務長
	服部 幸広	教頭 (全日制商業)
	安江 博	教頭 (全日制工業)
	林 剛史	教頭 (定時制)
	林 秀記	教務主任 (全日制商業)
	野口 晃弘	教務主任 (全日制工業)
	吉田 英生	生徒指導主事 (全日制工業)
	廣瀬 和俊	生徒指導主事 (定時制)
	野田 泰宏	進路指導主事 (全日制商業)
	安藤 正夫	商業科主任 (全日制)
	牛丸 憲一	工業科主任 (全日制)

- 3 会議の目的 学校に在籍する生徒の保護者及び地域住民の学校運営への参画及び連携の強化を推進することにより、学校、保護者及び地域住民が相互に信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善及び生徒の健全育成に取り組む。

- 4 会議の開催 令和5年11月6日(月) 13:30~15:30 商業棟2階ビジネス演習室II
委員6名 アドバイザー2名 学校12名 出席 委員1名欠席、学校側1名欠席

5 会議の概要 I 部

- (1) 授業見学(商業科、工業科)
- (2) 授業見学を終えて、ご意見・ご提言

II 部

- (1) 学校側からの説明(各分掌からの説明)
- (2) 委員・アドバイザーからのご意見・ご提言

※（２）授業見学の意見・質問・感想、（４）委員・アドバイザーからの意見・質問・提言
（意見）

- ・ 関商工というブランドがある。工業科は専門的な技術、商業科はプログラミング、簿記、資格取得を頑張っている様子が見えた。
- ・ きれいな教室であり、設備もよくなっている。いい環境であるが照明設備は検討を要する。
- ・ 少人数に分かれて個々を伸ばす授業がされている。
- ・ 商業科は教室が明るく、取り組みやすい環境である。TT(チーム・ティーチング)を実施して中身の濃い授業を展開されている様子が伺えた。生徒のカバンが大きく、教室のスペースを狭くしているのが施設の面で残念である。工業科では最新の機械設備を用いて授業を進めている様子が伺えた。
- ・ ホットとする学校である。生徒の姿を見ると目的に向かって勉強をしていることがわかり、すがすがしい気分になる。
- ・ テレビで関商工の学校行事や部活動の放映がされていた。部活動のオフシーズンに他の部活動に参加することで面白い取り組みになることもある。
- ・ 学生のうちから地域へ出ることによって大きく成長できるし活躍もできる。
- ・ 定時制の在り方の一つとして不登校生徒に対する対策を教育委員会と相談するとよい。
- ・ 体験できることは良いことである。何かしらイベントがあればPR活動がうまくいく。他の場でもPRできるようにするとよい。
- ・ 大人と話すことなど、いろいろなチャレンジが将来役に立つ。学校には引き続きやれることをやってほしい。
- ・ 特色のある取り組みや商業科と工業科の連携が必要。本町7丁目まちづくりプロジェクトは工業科だけでなく商業科も一緒にやりたいプロジェクトである。関市がやっていることをどんどんやっていくことも大事である。
- ・ 関商工への期待のひとつは、地域産業の担い手育成である。関市で働きたいと思えるように体験させたり、企業や市を巻き込んで地域産業(刃物など)について学べたりするとよい。
- ・ 中学生が減少している中、通信制への進学が増加している。そのあおりを受けて定時制も減少している。
- ・ 100周年に向けた将来像を考えるとよいと思われる。

(質問) 進学クラスが18名程度の生徒であったが、女子生徒が少ない。近年の状況を知りたい。

(回答) 生徒の希望で選択をしている。現在は男子生徒が多いが、年度により男女比に差がある。

6 会議のまとめ

- ・ 第2回学校運営協議会において、今年度の学校の取り組みについて中間報告を行い、委員の皆様から多くのご意見をいただくことができた。今後の学校運営や各分掌の活動の改善に反映させていく。次回の学校運営協議会は令和6年1月下旬に予定している。